

校訓：高く 明るく たくましく

入間野ルネサンス 継承と発展

# 学校だより

学校教育目標：志高く 心豊かに 自らを鍛える生徒

平成31年3月4日

狹山市立入間野中学校

校長 尾澤 栄一

## 真のグローバル化 国際社会に生き抜くには

### 我が国の伝統文化と郷土を愛する心を育てる

先月、東京芸術大学が行っているアウト・リーチが行われました。芸大大学院生並びに卒業生である尺八 村澤丈児さん 津軽三味線 山下靖喬さん 邦楽囃子 石森裕也さんが、2年生の音楽授業で邦楽鑑賞会を行いました。アウト・リーチとは、公的機関が学校や地域にプロのアーティストを派遣してコンサートなどを行う普及活動です。生徒たちは、目の前で迫力ある生の演奏と和楽器の素晴らしさや我が国の伝統芸能に触れ、和の響きを満喫した貴重な一時を味わうことが出来ました。改めて来校した奏者と大学側に感謝をします。

さて、生徒たちに面接等で将来のことを問うと「将来、グローバル化が進む中で英語の語学力を高めたい」という答えが返ってきます。もちろん国際社会で生き抜くために語学力は



必須条件です。しかし、同時に身に付けなくてはならないことは、真の国際人、日本人としての、アイデンティティを備えることです。そのことは生まれ育った郷土やそこに伝承続ける文化等に関心を向け、自分なりに愛好する心情を育てていくことで身に付くのではないかと思います。そしてグローバル化において求められる資質とは、自国の伝統と文化を愛するとともに他国や他地域の文化を尊重することが大切であると考えています。

そのために、第一として、他国の文化との比較を

通して相違点や共通点を見出し理解していくことがあげられます。今回の授業でも西洋の楽器との比較や和楽器でポップスを演奏するなどして比較をすることで和楽器の魅力のよさを伝えていました。第二は、伝統文化をどう保存・継承していくかです。私は、伝統を守り伝えることは、そこで生活を営む人の役目だと認識しています。そのために学校教育の中では長い歴史の中で先人が育んできた文化に興味・関心を持たせる好奇心へのまなざしを育てることではないかと思っています。そして第三として、これから国際社会で対等に生きていくためには、自国の文化の良さを世界へと発信していき、

共存共栄をすることが求められていると思います。諸外国では、まずは住んでいる地域、そして自国の文化を尊重し、次に他国の文化を意識して理解することが常道です。次年度は、郷土狹山、特に入曽地区にスポットをあてて郷土のよさを理解し、一人でも多くの生徒が地域の文化に関心をもつことができたらと願っています。今回のアウト・リーチを通して改めて、知ること体験することが、文化を大切し、我が国と郷土を愛する心を育てることなどだと実感しました。

